



もうすぐ夏・・・

いよいよ6月に入りました。二十四節気のひとつ「芒種」(今年6月6日)は、稲や麦など穂の出る植物の種をまく頃のこと。この頃から次第に梅雨めいて五月雨の季節に入ります。最近、さまざまなデザインのレイングッズが販売されています。上手に活用して、雨の日の外出を楽しむのもいいですね。

その後迎える「夏至」(今年6月22日)は、一年で昼が最も長く、夜が最も短い日です。最も夜が長い冬至と比較すると、昼間の時間差はなんと4時間以上もあります。

夏至から11日目は、雑節の「半夏生」(今年7月2日)です。関西では、タコを食べる風習があり、くっついて離れないタコの足のように稲が地に根付くように…という願いがこめられているそうです。

全国的には「土用の丑の日にうなぎを食べる」風習が有名ですね。この風習が始まったのは、江戸時代のこと。博物学者、平賀源内が仕掛けたといわれています。実は、うなぎは冬が旬。暑い夏に売れないと困っていたうなぎ屋に、『本日土用の丑の日、うなぎの日』という張り紙を貼らせたとところ大盛況。元々、丑の日に「う」からはじまる食べ物を食べると、夏バテをしないという風習があったため、「うなぎ」が定着したのでしょう。他のうなぎ屋もこぞって真似をしたのがはじまりともいわれています。

「土用」と聞くと、夏をイメージしますが、「土用」は季節ごとにあります。立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれ直前の18日間をいいます。今年の夏の土用の丑の日は、立秋前の期間にあたる7月24日と8月5日です。

梅雨が終われば本格的に暑い夏が始まります。夏バテ防止のためにも、栄養価の高いものを食べて、夏を元気に過ごしましょう！！



【マナーインストラクター部 活動だより】 私どもの最近の活動をご紹介します。

例年、年度が替わる3月、4月は、新入職員研修のご依頼を多くいただきます。今年も「38病院・施設、1,017名」の新入職員の方々に『中北薬品マナーセミナー』を受講していただきました。私たちマナーインストラクターも、希望にあふれた新入職員の方々とお会いすることを楽しみに伺っています。

あいさつ、言葉づかい、電話対応など、基本のビジネスマナーはもちろん、これから組織の一員として働くための医療人の心構えもお伝えしています。

また、東海地区にある5つの大学薬学部では、5月中旬より始まる病院・薬局実務実習前に、医療人の心構え、ビジネスマナーを中心とした授業を担当しています。



(薬学部での授業風景)

『中北薬品マナーセミナー』が、これから始まる社会人生活において、皆さまのお役に立てば幸いです。皆さまのご活躍をお祈りいたします！

